

きくらげ栽培事業例

2,000菌床を栽培する設備投資例

			千円
ビニールハウス	2	2,000	4,000
きくらげ菌床棚	2	1,500	3,000
換気設備 換気扇（吸気用・排気用）	4	80	320
散水設備など	2	300	600
その他、栽培収穫洗浄備品 冷蔵庫など	一式		800
工事 ハウス設置 散水設備	一式		700
工事 電気 水道 その他	一式		400
計			9,820



約1,000万円程の先行投資

ビニールハウスは遮光仕様できくらげ栽培に適しているもの

設備工事等は必要に応じて実施する

その他、機材は既存の物を使用する事も可能

※ 設備投資には助成金等を使用することが出来る事も
あるが申請が必要



参考数値

2,000菌床で4回転（8,000）栽培した売上予想

				千円
収入	きくらげ売上			24,000
		菌床数	8,000	
		収穫高(kg)	12,000	
		販売価格(¥)	2,000/kg	
	合計			24,000
支出	菌床仕入費			4,800
		菌床数	8,000	
		単価	600	
	人件費（常勤）	1名		0
	人件費（非常勤）	3~4名		0
	その他経費（水光費 送料他）	売上10%		2,400
	運営管理費	売上10%		2,400
	合計			9,600
収支			14,400	

農家様で栽培を予定しているため人件費は計上していません。

※ 別に栽培指導の費用が発生します。（きくらげ栽培のノウハウ 3日間/30万円）



注意

このシュミレーションは、目安としての数値であり収益等を補償するものではありません。収支予想は参考としてご覧ください。きくらげ栽培を実施する場合は個別の状況を伺い、事業プランをご提案させていただきます。

菌床は弊社ご提供品の使用をお願いします。他の菌床のご相談はお受け出来ないことがあります。

きくらげ栽培事業例

きくらげ事業の流れ



栽培データを最低1年間は収集します。安定した収穫をするために気温、湿度、CO2の測定を毎日数回行い記録します。季節ごとの収穫量と温度管理、湿度管理経費の算出を行います。